



妖怪書家 / 書家 逢香 Ouka



プロフィール

大阪府出身、奈良在住。6歳から書道を学ぶ。奈良教育大学（伝統文化教育専攻 書道教育専修）に入学後、変体仮名の授業を受け個性豊かな妖怪たちに魅了され、奈良墨を使って描きはじめる。

大学卒業後、特別支援学校の高校教諭を勤める。

「妖怪書家」を名乗り始めたのを機に、2017年には妖怪ウォッチシリーズ「黒い妖怪ウォッチ」のキャラクターデザインとタイトルデザインを担当。2020年に開催された「橿原神宮 御鎮座百三十年記念大祭」揮毫。同年に「ならまち」にある世界遺産 元興寺の絵馬の書・画・印デザインを手掛ける。2021年からNHK奈良「逢香の華やぐ大和」出演・美術担当し、世界遺産金峯山寺にて個展を開催。2022年には奈良市美術館にて大個展「妖怪POP」を開催、妖怪たちに“POPさ”を加え、社会風刺とユーモアを織り交ぜた作品は多くのメディアにも取り上げられ、約1万人の動員を記録した。現在は、企業ロゴやタイトルデザインを制作、また書画のコラボレーションを実施しメディアにも多数出演。マイノリティの方々にも高い関心を寄せ、伝統と革新を合わせ持つ「書家」として幅広く活動している。

NHK奈良「逢香の華やぐ大和」にレギュラー出演中。

奉納作品・パフォーマンス

世界遺産 元興寺（令和の元興神）

世界遺産 金峯山寺（鬼）パフォーマンス

橘寺（聖徳太子祝1450歳）

実相寺（天狗の襖絵）

橿原神宮（八咫烏画・橿原神宮御鎮座130年記念大祭 題字）

奈良ローターアクトクラブ創立45年記念式典 揮毫 など

講演

元興寺の歴史・文化を知る 創建1300年記念（2018年）

甲南女子大学（2019年）

奈良市春日中学校様の文化祭（2022年）

奈良SDGs新しい学び旅シンポジウム

「奈良墨の歴史と多彩な書の文化を未来へつなぐ」（2022年）

奈良県養護教諭職制70年記念大会（2023年）など一部抜粋

過去の主な個展

「妖怪書家 逢香展」大阪 岸和田城天守閣

「ならのすみ」展（奈良吉野 世界遺産 金峯山寺）

「妖怪POP」（奈良市美術館）

「妖怪ユニバース」（安藤忠雄氏建築 日本橋の家）

「逢香展 in 東大寺」（2024年 東大寺 観音院）

主な出演情報

NHK総合「吉田類のにつぼん百低山」

日本テレビ「遠くへ行きたい」、「行列のできる法律相談所」

TBS「和心百景」、「Life with Art」

朝日放送「LIFE夢のカタチ」、「ココイロ」

関西テレビ「よ〜いドン!」、「ちゃちゃ入れマンデー」

TOKYO MX「万葉びとと令和の物語〜中西進とめぐる奈良・世界遺産の旅」

テレビ東京「正解の無いクイズ」

J-WAVE「TOMOLAB.」

MBSラジオ「松井愛のすこーし愛して」

ラジオ関西「ばんぱひろふみ! ラジオDEしょー!」

